

ICON
pro audio



UPORTS 4

Live

USB2.0 High-Speed

4入力 / 4出力、+48V ファンタム電源付きレコーディング
USB インターフェース



ユーチャーズマニユアル。



N1630



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになつたあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICON製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがつた使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

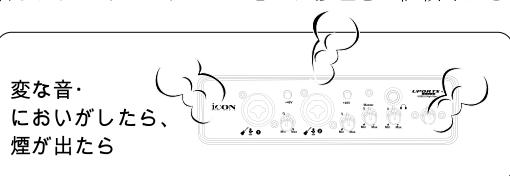
この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

本体やACパワーадаптер、充電器などの動作がおかしくなつたり、破損しているのにお気付きの場合はすぐにお買い上げ店またはアイコンサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- ① アイコンサービスセンター
- ② USBケーブルを抜く
- ③ お買い上げ店またはアイコンサービス窓口に修理を依頼する



警告表示の意

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じることがあります



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の器具に損害を与えることがあります。



注意を促す記号



火災



感電



指み



行為を禁止する記号



分解禁止



接続禁止



禁煙



行為を指示する記号



プラグを



コンセントから抜く



強制



警告



火災



感電



指み

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがのとなります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。絶対に自分で分解しないでください。内部の点検や修理はお買い上げ店またはアイコンサービス窓口にご依頼ください。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。この機種は防水構造にはなつていませんので、水中や雨天での使用はできません。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーадаптерや充電器をコンセントから抜いてください。電池を使用している場合は、すぐに電池を取り出してください。そして、お買い上げ店またはアイコンサービス窓口にご相談ください。

内容

はじめに	4
付属品をご確認ください	4
お客様のアカウントで ICON Pro Audio 製品をご登録ください	5
機能	6
フロントパネル	7
リヤパネル	8
トップパネル	9
Mac ドライバのインストール	10
ミキサコントロールパネル (MAC)	12
Windows ドライバのインストール	13
ProDriver4(Windows)	16
ミキサコントロールパネル (Windows)	17
設定 (サンプルレートと遅延の設定)	20
ProDriver4 ホスティングラック (Windows)	24
ハードウェアの接続	25
各種マイクロホン接続図	26
仕様	27
修理について	28

はじめに

ICON Uports4 Live シリーズ USB オーディオレコーディングインターフェースをお買い上げいただき、ありがとうございます。弊社はお客様に本製品を末永く御愛用いただけるものと確信いたしておりますが、万一お客様にご満足いただけない場合でも、ご満足いただけるよう努めて参ります。

本書には、Uports4 Live シリーズ USB オーディオレコーディングインターフェースの特徴、フロントパネル、サイドパネルの詳しい解説と、設定方法、使用方法、そして主要諸元が記載されています。

次のリンクのサイトから製品を登録してください：www.iconproaudio.com/registration:

次の手順に従ってください。まず、デバイスのシリアル番号と個人情報などを記入します。www.iconproaudio.com にてオンラインで製品をご登録いただくと、サービスやアフターセールスサポートを弊社のヘルプセンターからお受けになることができます。また、個人製品ページでお客様のアカウントに登録済み製品が表示されるので、そこでお使いのデバイスのファームウェア / ドライバのアップグレード、ソフトウェアバンドル、ユーザーマニュアルのダウンロードなど行うことができます。

他の電子製品と同様、本製品につきましてもご購入いただきました際の梱包材一式を保管していただきますようお願い申し上げます。万一修理のため本製品を弊社に返送していただく場合は、製品ご購入時の梱包材（あるいはそれと同等の梱包材）が必要となります。

本製品は、適切に整備・お手入れをしていただければ、故障することなく末永くご利用いただけます。後日照会させていただくため、シリアルナンバーを下欄に控えていただけますよう、お願い申し上げます。

付属品をご確認ください

- Uports4 Live USB レコーディングインターフェース
- 本ユーザマニュアル
- USB 2.0 ケーブル
- 3.5mm TRS オーディオケーブル

お客様のアカウントで ICON Pro Audio 製品をご登録ください

1. お使いのデバイスのシリアル番号を確認してください

<http://iconproaudio.com/registration> に進むか、下の QR コードをスキャンします。.



画面に、お使いのデバイスのシリアル番号など、請求された情報を入力します。
「Submit」をクリックします。

形式番号やシリアル番号などのデバイス情報を表示したポップアップウィンドウが現れます。「Register this device to my account」をクリックします。別のメッセージが表示された場合はアフターセールスサービスチームまでご連絡ください。

2. 既存ユーザーの方は、ご自分の個人アカウントページにログインします。未登録の方は新規ユーザーとして登録してください。

既存ユーザーの場合：ユーザー名とパスワードを記入して、個人ユーザーページにログインしてください。

新規ユーザーの場合：「Sign Up」をクリックして、情報をすべて記入してください。

3. 役に立つ資料をダウンロードする

このページのアカウントに、登録済みデバイスがすべて表示されます。製品ごとにドライバ、ファームウェア、各言語版のユーザーマニュアル、バンドルされたソフトウェアなどが表示されるので、これらをダウンロードすることができます。デバイスのインストールを開始する前に、ドライバなどの必要なファイルをダウンロードしておいてください。

機能



ICON Pro Audio Uports4 Live USB 録音インターフェイスは、オーディオ入出力モジュールや、スマートモバイルデバイス向けのライブストリーミングアプリケーション用アナログ・デジタル接続機能を提供します。主な機能：

- 24 ビット 192KHz 4 入力 / 4 出力 USB レコーディングインターフェース。
- 高ダイナミックレンジのプロフェッショナル向けハイエンド・ハイグレード DA/AD DAC：ダイナミックレンジ：114dB
ADC：ダイナミックレンジ：114dB
- スマートデバイスと同時に動作する Mac/PC 接続機能をサポート
- ProDriver4 仮想プラグインラックを介してオーディオ信号を処理してライブセッションが可能
- 4x4 アナログ I/O フルデュプレックス録音再生。
- スマートデバイスデジタル（タイプ C）ジャックとアナログ（TRRS）接続ジャックを搭載
- iOS および Android Digital I/O ジャック（タイプ C）と互換性があり、スマートフォンを直接接続できるアナログ I/O ジャック（3.5mm ステレオ TRRS）を搭載
- 独立ゲインコントロールとファンタム電源スイッチ付きデュアルマイク / 楽器用プリアンプ
- 1/4 インチ TRS ジャックの 2 個のアナログ出力、または 3.5mm フォーン・コネクタのステレオ出力
- フロントパネルのマスター・ボリュームコントロール
- トップパネルのダイレクトモニタリングコントロールつまみ
- ソース割当可能なヘッドホン出力 1 個。専用ボリュームコントロール付き
- ProDriver4 ソフトウェアコントロールパネルによるフレキシブルチャンネルルーティング
- ICON Pro Audio が開発した超低レイテンシーの ProDriver4™ ドライバを搭載
- ICON Pro Audio の画期的で使いやすいプラグインホストティングラックソフトウェアを搭載した ProDriver4™ (Windows のみ)
- 高速 USB2.0 装着。USB バス電源
- DirectSound、WDM、ASIO2.0 をサポート
- Mac OS (Intel-Mac)、iOS 9 以降、Windows 7、Windows 8、Windows 10 (32 ビット / 64 ビット) 対応
- フルデュプレックス、同時録音再生
- iOS で使用する場合の外部電源用 +5VDC 電源コネクタが装着されています
- 堅牢なアルミニウム筐体

フロントパネル



1. 「Mic/Inst」入力 1/2

楽器およびマイクレベル不平衡入力。このハイブリッドコネクタには、標準 3 ピン XLR プラグまたは 1/4 インチ TS コネクタが接続できます。

2. 48V ファンタム電源スイッチ

このスイッチを押すと、それに関連した XLR 入力に 48V ファンタム電源が供給されます。このファンタム電源はほとんどのコンデンサマイクに使用できます。

3. 入力ゲインレベルコントロール 1/2

関連アナログマイク / 楽器 / ライン入力の入力レベルコントロール用ポテンショメータ。

4. マスターレベルコントロール

アナログ出力のマスター出力レベルを調整するポテンショメータ。

5. ヘッドホンレベルコントロール

ヘッドホン出力の出力レベルを調整するポテンショメータ。

6. ヘッドホン出力

標準 1/4 インチ TRS ヘッドホンコネクター接続用出力ジャック。

リヤパネル



1. USB 2.0 コネクター

付属のケーブルで、本器とご使用の Mac または PC または iOS デバイスカメラキットの USB コネクターとを接続します。ご使用の Mac または PC が USB2.0 接続可能でなければ、Uports4 Live をフルスピードで動作させることはできません。

2. ライン出力 1/2

+6dBu ラインレベルの不平衡アナログ出力用標準 1/4 インチ TS コネクター。

3. スマートデバイス I/O (デジタル・タイプC およびアナログ・3.5mm TRRS)

これらのポートを使用すると、スマートデバイスや Mac/PC を同時に接続することができるため、ライブストリーミング用途でスマートデバイスにオーディオ信号を送信する前に、Mac/PC で信号を処理することができます。

デジタル - スマートデバイスのデジタルジャックに直接接続できるタイプC ジャック (OTG アダプターが必要)

アナログ - スマートデバイスのオーディオ I/O に直接接続できる TRRS ステレオジャック

4. MIDI I/O コネクタ

MIDI 入出力用標準 5 ピン DIN コネクタ。

5. 電源コネクタ

Uports4 Live は USB バスで電源が供給されます。お使いのコンピュータが十分な電源を供給できない場合、このジャックに ICON +5VDC 電源アダプタを接続するか、適切な USB ケーブルの付いた標準携帯電話充電器 / 電源アダプタをお使いください。

(**注意**：電源アダプタはお近くの ICON 販売店でお求めになれます。)

(**注意**：Mac や PC を使用せずに Uports4 Live をスタンドアロンユニットとして使用する場合には、外部電源アダプターが必要です)

トップパネル



1. 「ダイレクトモニター」つまみ

ハードウェアダイレクトモニタリング(時計回りに回して「ダイレクト出力」にする)では、入力トラックや既存のトラックの聴取の際にどんなに優れた内部回路でも本質的に発生しうる遅延が解消されます。もしくは、極めて遅延の小さい ASIO モニタリングを使用して、録音中に、エフェクトと一緒に入力信号を聴くことができます(反時計回りに回して「コンピュータ」にする)。

Mac ドライバのインストール

Uports4 Live- はクラスコンプライアンスデバイスです。従って、Mac にドライバをインストールする必要がありません。さらに、カメラキットに接続すると iOS デバイスがフルサポートされます。

次の手順に従って、Uports4 Live- シリーズ USB レコーディングインターフェースとそのドライバをインストールしてください。

1. Mac の電源を入れる

(注意: ここではまだ Mac に Uports4 Live- シリーズデジタルオーディオインターフェースを接続しないでください)

2. クラスコンプライアンスデバイス

Uports4 Live は Mac OSX のクラスコンプライアンスデバイスなのでドライバをインストールする必要がありません。

3. デスクトップにソフトウェアコントロールパネルのショートカットロゴをコピーする

上で示した「Mac」フォルダを開きます。「ProDriver4」ソフトウェアパネルのショートカットロゴをコピーし、デスクトップに貼り付けてください。

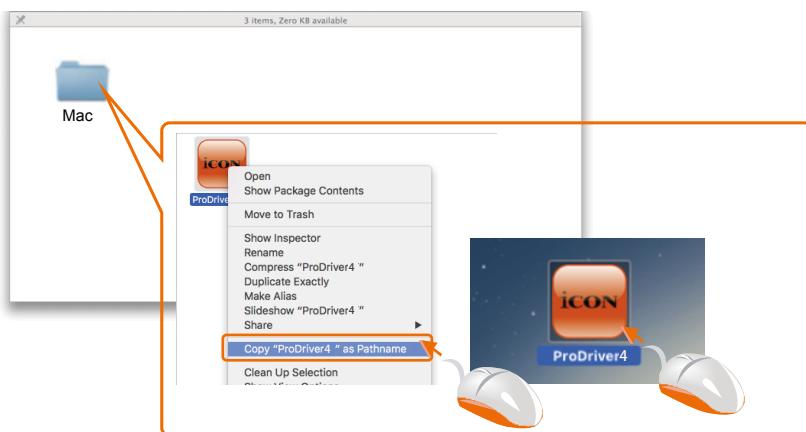


図 1

4. ソフトウェアコントロールパネルを起動する

たった今デスクトップにコピーした Uports4 Live- ソフトウェアコントロールパネルのショートカットロゴをクリックすると、ソフトウェアコントロールパネルが起動します。

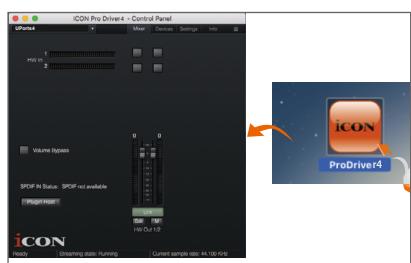


図 2

5. Uports4 Live デジタルオーディオインターフェイスの接続

さあ、お使いの Mac の USB ポートに Uports4 Live デジタルオーディオインターフェイスを接続しましょう。

注意：Uports4 Live オーディオインターフェイスは USB2.0 のみをサポートします。ですから、お使いの Mac には USB 2.0 ポートが装着されていなければなりません。



図 3

6. オーディオ MIDI セットアップ

「オーディオ MIDI セットアップ」ウィンドウを開き、下の図 4 のように、Uports4 Live デバイスのセットアップが正しく行なわれたかを確認してください。

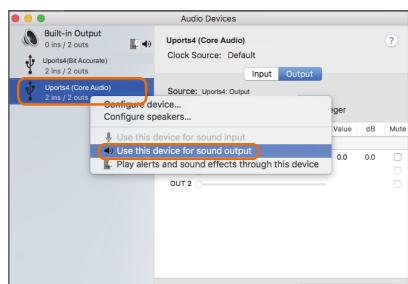


図 4

ミキサコントロールパネル (MAC)

本ミキサはマトリックスミキサと同様に作動します。対応する入力または出力チャンネルレベルを起動して調整してください。これらは大変便利で、入出力が非常に柔軟に行なえます。任意の入力を任意の出力に対応させることができます。

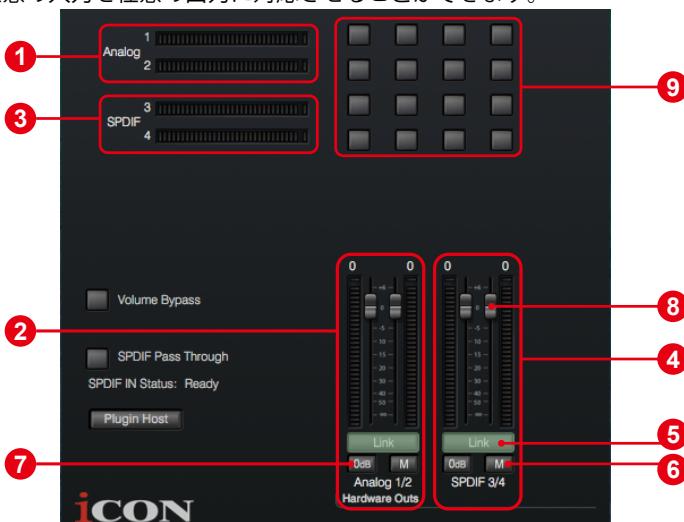


図 5

1. HW Input 1/2 レベルメーターリング

ハードウェア入力 1/2 入力レベルを表示します (HW In 1/2)。

2. HW Output 1/2 出力レベルを表示します

ハードウェア出力 1/2 出力レベルを表示します (HW Out 1/2)。

3. S/PDIF In 3/4

S/PDIF 3/4 入力レベルを表示します (S/PDIF In 3/4)。

4. S/PDIF Out 3/4

S/PDIF 3/4 出力レベルを表示します (S/PDIF Out 3/4)。

5. リンクスイッチ

両方のチャンネルを同時に調整するスイッチ。

6. ミュートスイッチ

対応するチャンネルをミュートするスイッチ。

7. 「0dB」スイッチ

対応するチャンネルを瞬時に「0dB」レベルに調整するスイッチ。

8. ゲインコントロールフェーダー

これをスライドして、対応するチャンネルのゲインレベルを調整します。

9. 入力 & 出力マトリックススイッチ

ハードウェア入力チャンネルとそれに対応するハードウェア出力チャンネルとのルートをオンオフするスイッチ。このマトリックスは大変便利で、入出力が非常に柔軟に行なえます。任意の入力を任意の出力に対応させることができます。

Windows ドライバのインストール

次の手順に従って、Uports4 Live- シリーズ USB レコーディングインターフェースとそのドライバをインストールしてください。

1. コンピュータの電源を入れる

注意: ここではまだコンピュータに Uports4 Live- シリーズデジタルオーディオインターフェースを接続しないでください。

2. www.iconproaudio.com の個人ユーザーページから、Windows ドライバをダウンロードします (その方法については図 6 をご覧ください)

ドライバファイルをダウンロードしたら、そのファイルをクリックしてインストールプロセスを開始します。

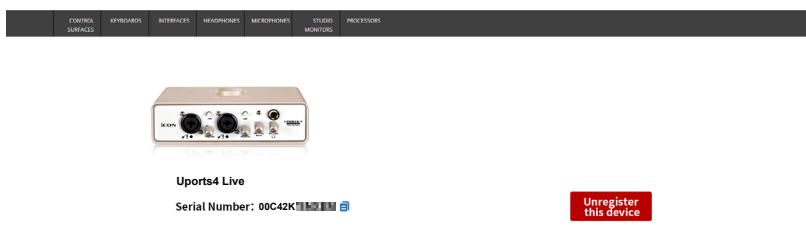


図 6

3. インストールウィザードが表示される

図 7 のような「ようこそ」画面が表示されたら「次へ」を選択してください。

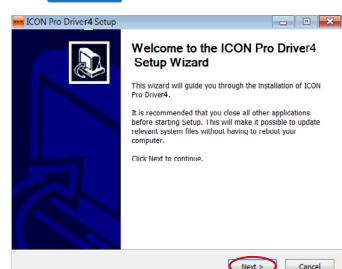


図 7

4. ライセンス契約書

「I Agree」をクリックして継続します。

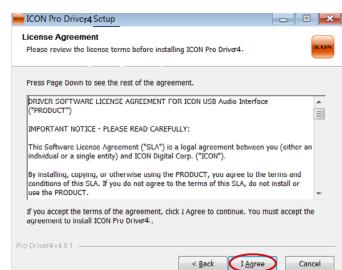


図 8

5. インストールしたいコンポーネントを選択する

インストールしたいコンポーネントにチェックマークを入れてください。全部のコンポーネントを選択するよう強くお勧めします。

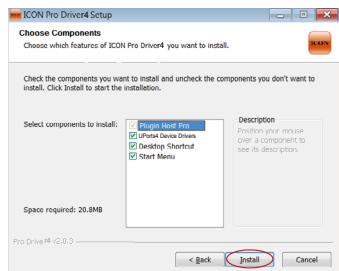


図 9

6. ファイルのインストールの準備

インストールプロセスが開始されます。ご使用のコンピュータの性能によってこのプロセスに要する時間が異なります。プロセスが終了するまでお待ちください。

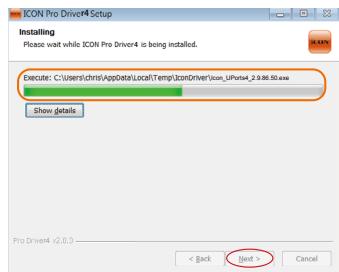


図 10

7. 「Install」をクリックして継続します。

注意：ドライバが3回別々にインストールされるので、同じメッセージが3回表示されることがあります。



図 11



図 12



図 13

8. セットアップの完了

図 14 のようなウィンドウが表示されます。「フィニッシュ」を選択してください。

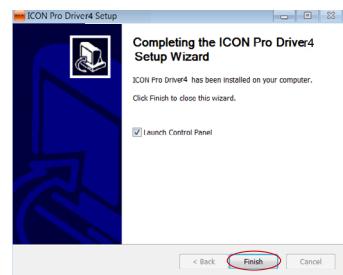


図 14

9. ソフトウェアコントロールパネルを起動する

システムトレイの Uports4 Live- ロゴをクリックすると、ソフトウェアコントロールパネルが起動します (16 ページ)。

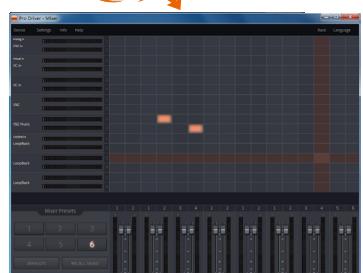
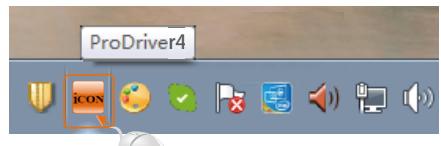


図 15

10. Uports4 Live- シリーズ デジタルオーディオイン ターフェースを接続する

ではここで、コンピュータの USB ポートに Uports4 Live- シリーズデジタルオーディオインターフェースを接続して。

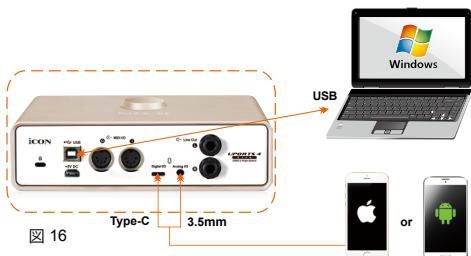


図 16

ProDriver4(Windows)

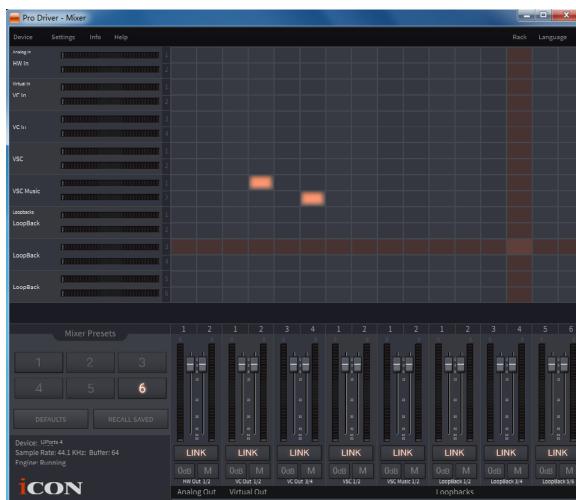


図 17



図 18

ICON Pro Audio がお届けする、ステージ、スタジオ、ストリーミング用最新鋭オーディオイノベーション、ProDriver4 をご紹介しましょう。ProDriver オーディオシステムは、必要なときに直ちに使える、高信頼性オーディオツールを提供します。本システムの心臓部は、最先端テクノロジーを使用したゼロレイテンシーモニタリング用ドライバです。ユーザーインターフェイスと仮想信号ルーターにより、あらゆるソースからオーディオをキャプチャしてコンピュータに再転送することができます。ProDriver Plugin Host を使用すれば、お好きな VST、オーディオユニット、DirectX プラグインに接続できます。ProDriver4 は、スタンドアロンモードで動作させることも、お好みの DAW で動作させることもできます。お好きなプラグインチェインをプリセットとして保存し、セッションやライブステージでリアルタイムに呼び出すことができます。

ミキサコントロールパネル (Windows)

ICON ProAudio オーディオインターフェイスドライバには、「WDM」（Windows Driver Model）と、「ASIO」（Audio Stream Input and Output）の 2 種類のオーディオドライバが搭載されています。WDM は、メディアプレイヤーなどの汎用ソフトウェアで広く使用され、ASIO は、主に、LogicPro などの録音ソフトウェアで使用されます。ASIO には、WDM よりもレイテンシーが小さいというメリットがあります。これは、大量のプラグインを使用した録音の際に非常に重要になってきます。実際、HW (ハードウェア) チャンネルのみを使用する大部分の汎用ソフトウェアは、ASIO ドライバをサポートせず、WDM のみを使用しています。以下に、各チャンネルタイプで使用される用語の意味を説明しました。

1. HW IN (Hardware Channel IN)

これは、マイクや楽器入力チャンネルなどのハードウェア入力チャンネルを意味します。

2. HW Out (Hardware Channel OUT)

これは、ヘッドフォンやラインアウト出力チャンネルなどのハードウェア出力チャンネルを意味します。

3. VC Out (Virtual Channel OUT)

これは ASIO ドライバのみに存在する、ASIO VC IN へ信号を出力する仮想チャンネルです。

4. VC In (Virtual Channel IN)

これは ASIO ドライバのみに存在する、ASIO VC Out からの信号を入力する仮想チャンネルです。

5. LoopBack (LoopBack Channel)

ASIO 内部ループバックチャンネル（たとえば、ASIO VC Out 信号を ASIO VC IN に送るなど）

ミキサコントロールパネルには、3 種類の操作可能な主要 ASIO チャンネルがあります。

1. Uports4 Live / ハードウェアチャンネル (HW In 1/2 と HW Out 1/2)

これは Uports4 Live のハードウェア入出力チャンネルです。

2. Uports4 Live 仮想チャンネル (VC In 1/2、3/4、5/6)、(VC Out 1/2、3/4、5/6)

これは WDM に関連した仮想入出力チャンネルです。

例： WDM Out 1/2 を VC In1/2 にリンクさせる

VC Out1/2 を WDM In1/2 にリンクさせる

3. Uports4 Live ループバックチャンネル (LB 1/2、3/4、5/6)

これは ASIO ループバックチャンネルです。

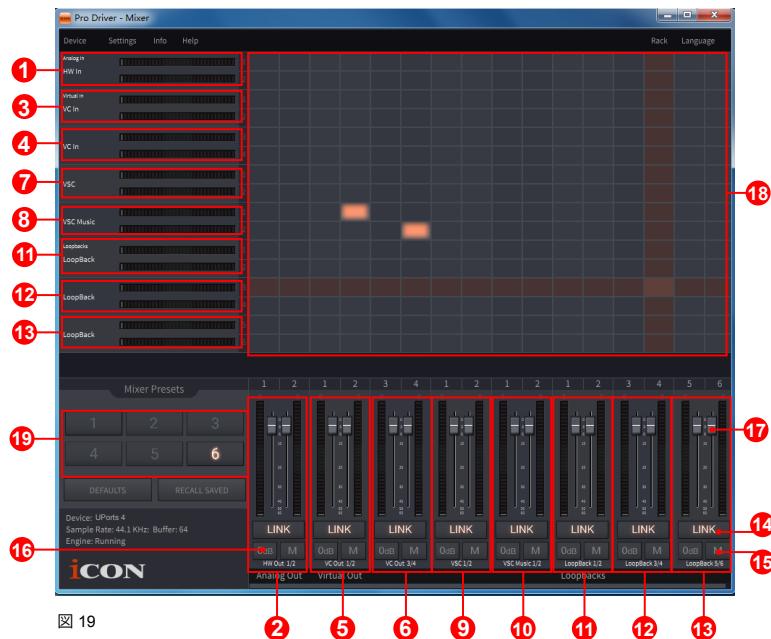


図 19

異なるクロスポイント起動すると、希望のチャンネルに、それに対応する信号を送ることができます。

1. HW Input 1/2 レベルメーターリング

ハードウェア入力 1/2 入力レベルを表示します (HW In 1/2)。

2. HW Output 1/2 出力レベルを表示します

ハードウェア出力 1/2 出力レベルを表示します (HW Out 1/2)。

3. VC In 1/2 (仮想) 入力レベルメーターリング

WDM 1/2 入力レベルを表示します (VC In 1/2)。

4. VC In 3/4 (仮想) 入力レベルメーターリング

WDM 3/4 入力レベルを表示します (VC In 3/4)。

5. VC Out 1/2 (仮想) 出力レベルメーターリング

ASIO 1/2 VC 出力レベルを表示します (VC Out 1/2)。

6. VC Out 3/4 (仮想) 出力レベルメーターリング

ASIO 3/4 VC 出力レベルを表示します (VC Out 3/4)。

7. VSC In 1/2 (仮想) 入力レベルメーターリング

WDM 1/2 入力レベルを表示します (VSC In 1/2)。

8. VSC music In 1/2 (仮想) 入力レベルメーターリング

WDM 1/2 入力レベルを表示します (VSC music In 1/2)。

9. VSC Out 1/2 (仮想) 出力レベルメーターリング

ASIO 1/2 VSC 出力レベルを表示します (VSC Out 1/2)。

10. VSC Music Out 1/2 (仮想) 出力レベルメーターリング

ASIO 1/2 VSC Music 出力レベルを表示します (VSC Music Out 1/2)。

11. ループバック 1/2

ASIO ループバック 1/2 チャンネルのレベルメーターリングを表示します。

12. ループバック 1/2

ASIO ループバック 1/2 チャンネルのレベルメーターリングを表示します。

13. ループバック 1/2

ASIO ループバック 1/2 チャンネルのレベルメーターリングを表示します。

14. リンクスイッチ

両方のチャンネルを同時に調整するスイッチ。

15. ミュートスイッチ

対応するチャンネルをミュートするスイッチ。

16. 「0dB」スイッチ

対応するチャンネルを瞬時に「0dB」レベルに調整するスイッチ。

17. ゲインコントロールフェーダー

これをスライドして、対応するチャンネルのゲインレベルを調整します。

18. 入力 & 出力マトリックススイッチ

ハードウェア入力チャンネルとそれに対応するハードウェア出力チャンネルとのルートをオンオフするスイッチ。このマトリックスは大変便利で、入出力が非常に柔軟に行なえます。任意の入力を任意の出力に対応させることができます。

19. Mixer Presets

ルーティングチャンネル設定を保存したり読み込むために、6 個のミキサープリセットボタンスロットが使用できます。

設定 (サンプルレートと遅延の設定)

「Setting」ボタンをクリックすると設定ウィンドウが起動します。

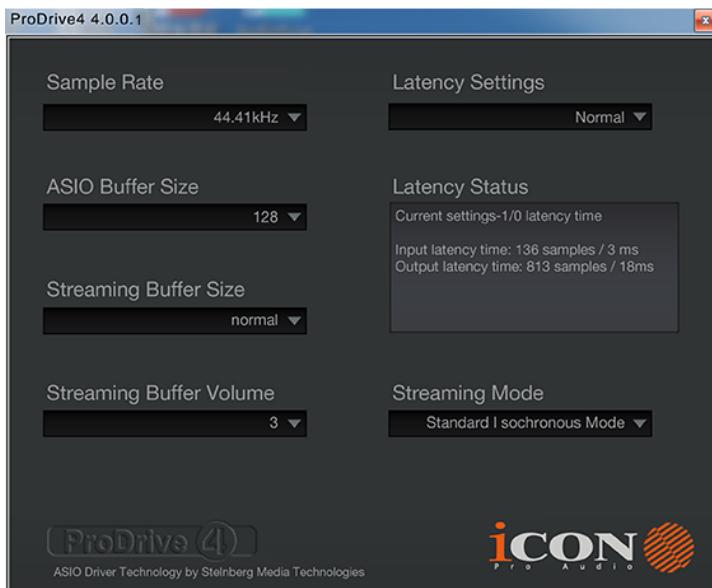


図 20

サンプリングレートの設定

図 21 のプルダウンウインドウで、44.1KHz～192KHz のいずれか希望のサンプリングレートを選択してください。

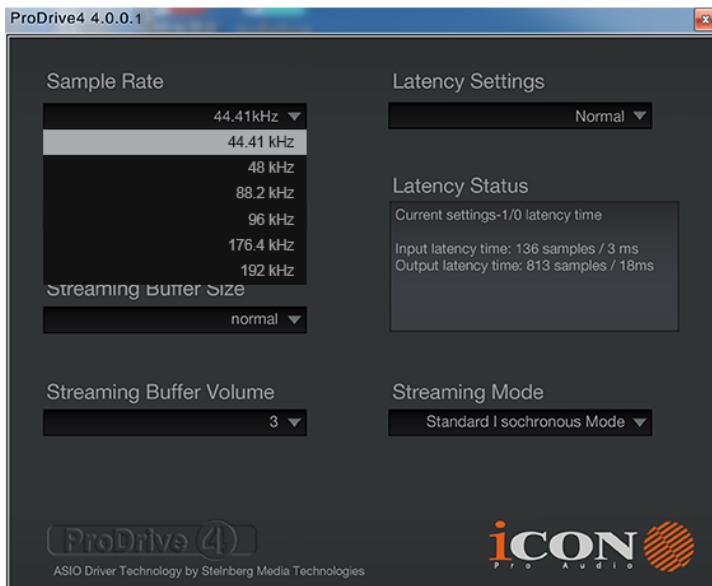


図 21

遅延設定

6個の設定から遅延が選択できます。ご自分で遅延の値をカスタマイズしたい場合は custom を選択してください。

- 安全 (最大の遅延)
- きわめて大
- 通常
- 小
- きわめて小
- 最小 (最小の遅延)
- カスタム

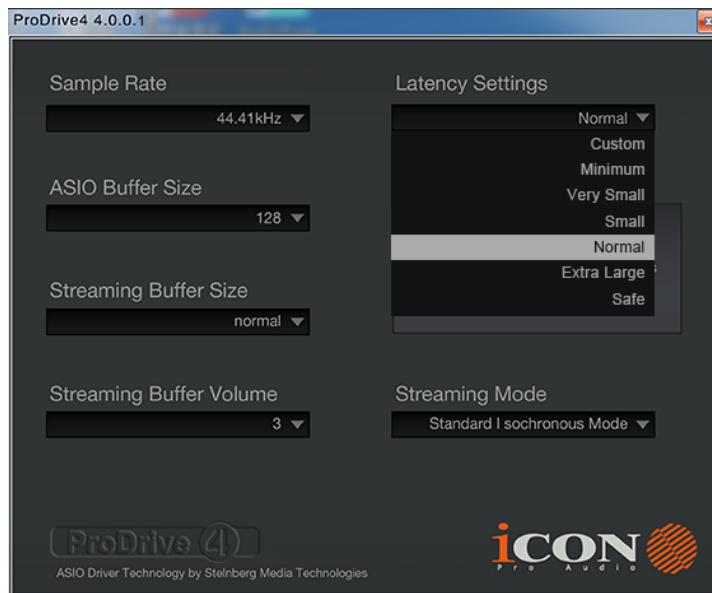


図 22

ご自分で遅延設定をカスタマイズできるように、3種類の設定があります：選択できる値：

1. ASIO バッファーサイズ

値は、32/64/128/256/512/1024/2048/4096 に調整できます。



図 23

2. ストリーミングバッファーサイズ

調整可能な設定：最低 / 低 / 通常 / 高 / 最高

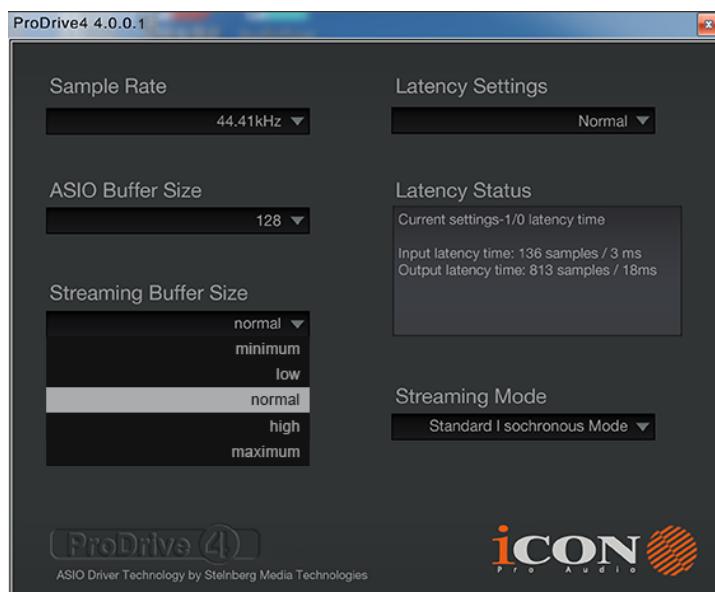


図 24

3. ストリーミングバッファーボリューム

調整可能な値：2/3/4

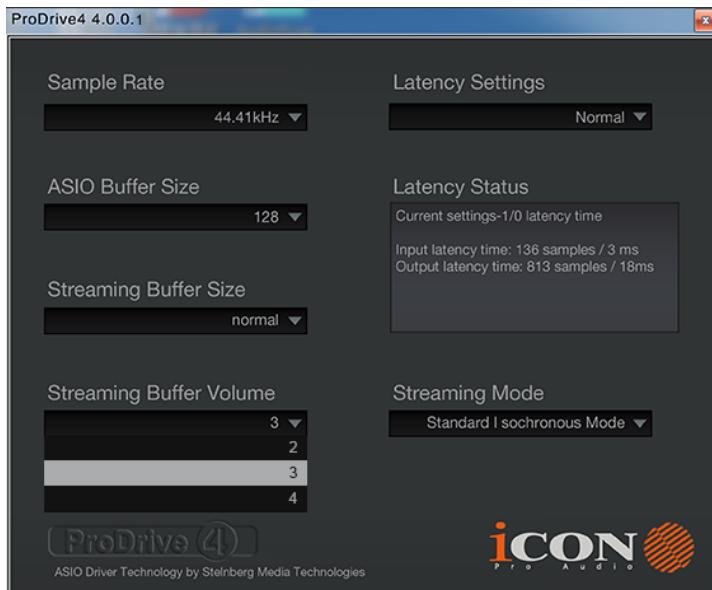


図 25

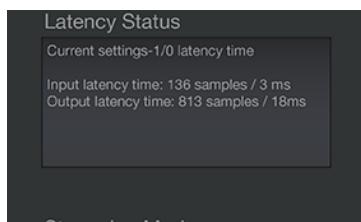


図 26

(注意：「Latency Status」 ウィンドウに警告メッセージが表示されたら、大きな遅延の値を調整してください。)

(注意：クリック音が聞こえたら、さらに大きなバッファサイズに設定を変更してください。一番大きなバッファサイズを選択した場合でもクリック音が聞こえることがあります。これは、ご使用のコンピュータの性能が不十分なため、タスクを処理しきれないことを意味します。（これは、Uports4 Live- シリーズデジタルオーディオインターフェースから発生する音ではありません。）

ProDriver4 ホスティングラック (Windows)



ProDriver4 ラックでは、DAW に、好みの プラグインを使用することができます。DAW を実行することなく、スタンドアロン プラグインエフェクタとして使用することもできます。

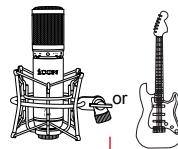
ハードウェアの接続

Uports4 Live- デジタルオーディオインターフェースの出力を、ご使用のアンプやパワードモニターやサラウンドシステムに接続してください。2 チャンネルステレオ動作です。デフォルト出力はチャンネル 1 と 2 です。

ヘッドホンでモニタする場合、デバイスのヘッドホン出力にヘッドホンを接続してください。

デバイスのアナログ入力には、マイクや楽器、またはその他のラインレベルアナログソースを接続してください。

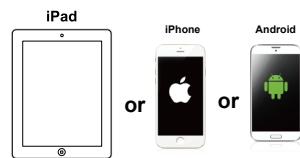
MIDI I/O に MIDI デバイスをそれぞれ接続してください。



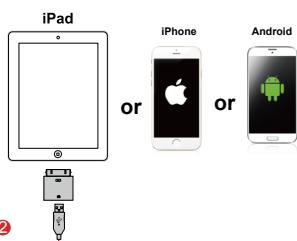
PC/MAC Only



Smart Device Only



PC/MAC Smart Device Simultaneously



各種マイクロホン接続図



注意: ダイナミック・マイクロホンをお使いになる場合には、マイクロホンが破損することがあるので、接続前に必ず +48V ファンタム電源スイッチを「オフ」にしてください。

仕様

Mic1 / 2 Inputs (at Minimum Gain):

Frequency Response: 22Hz to 22kHz (+/-0.1dB)
Dynamic Range: 114dB, A-weighted
Signal-to-Noise Ratio: -114dB, A-weighted
THD+N: -100dB
Crosstalk: -97dB @ 1kHz
Input Impedance: Mic in: 1.8K Ohms, typical
Adjustable Gain: +34dB
Total Gain Range: +50dB

Inst1 / 2 Inputs (at Minimum Gain):

Frequency Response: 22Hz to 22kHz (+/-0.1dB)
Dynamic Range: 114dB, A-weighted
Signal-to-Noise Ratio: -114dB, A-weighted
THD+N: -100dB
Crosstalk: -97dB @ 1kHz
Input Impedance: Inst in: 500K Ohms, typical;
Adjustable Gain: +39dB
Total Gain Range: +39dB

Line Outputs 1/2 (Unbanced):

Frequency Response: 22Hz 22kHz (+/-0.1dB)
Dynamic Range: 114dB, A-weighted
Signal-to-Noise Ratio: -114dB, A-weighted
THD+N: -100 dB
Crosstalk: -97dB @ 1kHz
Nominal Output Level: Unbalanced: +4dBV, typical;
Maximum Output Level: +11dBV, typical;
Output Impedance: 150 Ohm
Load Impedance: 600 Ohm minimum

Headphone Outputs: 1 & 2 (at Maximum Volume; Into 100 Ohm load):

Frequency Response: 22Hz to 22kHz (+/-1dB)
Power into Ohms: 90 mW into 100 Ohms
THD+N: <0.06% (-66dB)
Signal-to-Noise Ratio: -100dB, A-weighted
Max Output Level into 100 Ohms: +2.0dBV, typical
Output Impedance: 75 Ohm
Load Impedance: 32 to 600 Ohms

修理について

本製品の修理が必要な場合は、以下の手順に従ってください。

以下のような情報、知識、ダウンロードについては、当社のオンラインヘルプセンター (<http://support.iconproaudio.com/hc/en-us>) でご確認ください。

1. FAQ (よくあるご質問)
2. ダウンロード
3. 詳細情報
4. フォーラム

必要な情報のほとんどが、こちらのページに記載されています。お探しの情報が見つからない場合は、下のリンクからオンライン ACS (自動カスタマーサポート) でサポートチケットを作成してください。当社のテクニカルサポートチームがお手伝いいたします。
<http://support.iconproaudio.com/hc/en-us> にアクセスしてサインインし、チケットをお送りください。ただし、「Submit a ticket」をクリックするとサインインの必要はありません。

照会チケットをお送りいただくと、弊社サポートチームが、ICON ProAudio デバイスの問題をでき限り早く解決できるようにお手伝いいたします。

不良品を修理・交換のために返送する場合：

1. 問題の原因が誤操作や外部システムデバイスではないことを確認してください。
2. 弊社にて修理の際、本書は不要ですので、お手元に保管してください。
3. 同梱の印刷物等や箱など、購入時の梱包材で本製品を梱包してください。梱包材がない場合は、必ず適切な梱包材で梱包してください。工場出荷時の梱包材以外の梱包材が原因で発生した損害について、弊社では責任を負いかねます。
4. 弊社サービスサポートセンターまたは地区内の正規サービスセンターに本製品を送付してください。下のリンクから、当社のサービスセンターおよび販売店の所在地をご覧ください：

香港にお住まいの場合は、
製品をこちらまで返送してください：
ICON (Asia) Corp:
Unit F, 15/F., Fu Cheung Centre,
No. 5-7 Wong Chuk Yueng Street, Fotan,
Sha Tin, N.T., Hong Kong.

北米にお住まいの場合は、
製品をこちらまで返送してください：
ICON Service Centre
611 Potomac PL Ste 102
Smyrna, 37167-5655 Tennessee.
United States
Tel.: +1 615 540 989

ヨーロッパにお住まいの場合は、
製品をこちらまで返送してください：
Sound Service
GmbHEuropean
HeadquarterMoriz-Seeler-Straße
3D-12489 Berlin
Telephone: +49 (0)30 707 130-0
Fax: +49 (0)30 707 130-189
E-Mail: info@sound-service.eu

5. その他更新情報は、弊社ウェブサイト (www.iconproaudio.com) をご覧ください。



ICON
Pro Audio

